





# 感染症に気をつけよう!

2020年【10月号】



## 横浜市内の感染症 流行状況

感染症**	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
腸管出血性 大腸菌感染症*	 発生	 横ばい	6月以降、無症状の場合も含め、ほぼ一定数の患者が報告されています。【'19.9号】【ちらし】
新型コロナウイルス 感染症**	 発生	 横ばい	市内でも報告が続いています。 【患者発生状況(記者発表事例)】【'20.9号】

参考ホームページ \*:厚生労働省 \*\*:国立感染症研究所 横浜市衛生研究所  
横浜市感染症情報センター



## 今、気をつけたい感染症 冬の感染症



- 気温が低く乾燥している冬は… 風邪、インフルエンザやノロウイルスなど、感染症が流行しやすい季節です。
- また、今シーズンは新型コロナウイルス感染症の流行も心配されています。



- 感染症の種類は違っても… 基本的な予防対策は同じです。
- 感染(飛沫感染・接触感染)の経路を断つために、咳エチケット\*やこまめな手洗い\*をしっかりと行いましょう。
- 十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけて、免疫力を高めておくことも大切です。



- インフルエンザの予防\*には… ワクチンもあります。
- インフルエンザワクチンは、接種すれば絶対にかからないというものではありませんが、発病の予防や、発病後の重症化に関しては、一定の効果があるとされています。接種について、かかりつけ医に相談しましょう。  
(横浜市では、年内、高齢者インフルエンザ予防接種が無料になります。)



厚生労働省  
【新型コロナウイルスに関するQ&A】



横浜市保健所  
【新型コロナウイルス感染症対策】

